

提出 順番	No. 5	平成30年6月4日 午前・午後9時54分受領
----------	----------	---------------------------

平成30年6月4日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 東口 隆弘 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種の対象者の拡大について</p>	<p>厚生労働省の人口動態統計月報年計（概数）によると、日本人の死亡原因は、これまで3番目であった脳血管疾患が肺炎と置き換わり、平成23年からがん・心臓病・肺炎の順となっている。</p> <p>国では、肺炎による死亡者数の増加傾向を無視できず、平成26年10月から成人の肺炎球菌ワクチンを定期予防接種に追加する措置を取った。</p> <p>厚生労働省は、平成26年から5年間をかけて高齢者全員への接種を目指しており、現在は経過措置の段階として、当該年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる者を対象として実施し、本年度が経過措置の最終年度となっている。平成31年度以降は、当該年度に65歳となる者と60歳以上65歳未満の者であって、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者を接種対象者としている。</p> <p>町では、この成人用肺炎球菌ワクチンの接種について、平成26年から助成制度を設け、対象となる方に接種の勧奨をしてきたが、平成29年度の接種率は、おおよそ35%にとどまっていると聞いている。対象となる年度に定期予防接種を受けることができなかった方は、長期にわたり療養を必要とする病気にかかっていたことなど特定の事情がない限り接種費用の助成を受けることができず、接種を希望する場合には、費用全額を自己負担する任意接種しか方法がないのが現状である。</p> <p>ワクチン接種が高齢者の健康を守る効果が高いことと、接種率が高いとはいえない状況を考え、経過措置期間が終了する来年度以降の接種対象者の拡大に関して、以下の点について伺う。</p>

<p>2 バイオガスプラントの建設に向けて</p>	<p>① 平成26年度から昨年度までの定期接種対象者の人数と接種した人数、接種率は。また、この間、任意接種した人数は。</p> <p>② 成人用肺炎球菌ワクチンの接種費用と国の地方財政措置の状況は。</p> <p>③ 平成31年度以降、定期接種対象の方に加え、66歳以上で過去に接種を受けたことがない方に対し接種費用の助成を拡大する考えは。</p> <p>④ 予防接種は、国の責任において全国一律に実施されるべきものであり、国に必要な財源の確保を求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>札幌管区気象台が平成29年3月に刊行した「北海道の気候変化(第2版)」によると、日本国内の年平均気温は、1898年から2015年にわたって100年当たり、およそ1.16℃上昇し、道内の札幌、旭川、網走、帯広など7地点の平均ではおよそ1.59℃上昇したと書かれている。</p> <p>近年の気候変動は、地球規模での温暖化の進行が大きく影響しているのではないかと多くの住民が感じているところである。</p> <p>酪農地帯での生堆肥の散布も少なからず影響していると指摘されている中、バイオガスプラントから生成される消化液の散布は、こうした環境汚染の防止に大きく貢献するものと考えられる。</p> <p>バイオガスプラントの建設に向けての調査が、平成28年度に実施され、課題や問題点が明らかになったところであり、中でもプラント建設と送電設備整備等の費用が高額であることが大きなハードルと認識している。</p> <p>近年、管内の自治体でも行政主導型のプラント建設計画が報道されている。</p> <p>管内で様々な建設が計画される現状において、幕別町としてバイオガスプラント建設に向けての考えを伺う。</p> <p>① バイオマス導入調査(5,378千円)を経て、どのような取組を展開されてきたのか。</p> <p>② 酪農地帯を抱える幕別町の環境改善に向けて、町としてどのように取り組む考えか。</p>
---------------------------	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。